「メンター研修」を中心とした、若手教員の育成を目指す短時間で行う校内研修の事例

|  |
| --- |
| 研修名：不登校児童生徒に関わる「現状と課題」を把握する研修 |

|  |
| --- |
| 目　的：不登校児童生徒の現状と課題を把握し、よりよい支援方法について学ぶ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学校種 | 小・中学校 | 研修時間 | 30分 |
| 対　象 | （メンティ）：不登校児童生徒への対応に悩みを抱えている若手教員  （メンター）：不登校児童生徒の支援に幅広い見識があり、若手教員の指導に意欲のある  先輩教員 | | |
| 配付物 | ・ワークシート | | |

■　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 主　な　内　容 | 備　考 |
| ２分  ８分  15分  ５分 | １　オリエンテーション  ・ミニ研修の目的を確認する。  ２　講義  (1) 不登校児童生徒数の現状について  (2) 児童虐待の現状について  ア　児童相談所における対応件数  イ　警察が検挙した児童虐待件数  (3) いじめの認知件数の現状について  (4) いじめに起因する事件の検挙・補導等について  ３　演習  (1) ワークシートを使い、対応の具体を紹介する。  （例）「ソーシャルスキルワーカー実務テキスト」等  ア　不登校児童生徒の分析  イ　支援方法・戦略  (2) メンティが自身の抱える不登校児童生徒を想起し、ワーク  シートに記入する。  (3) 記入した内容や、支援方法・戦略等をグループ交流する。  ４　まとめ  メンターが、自身の実践の成果や失敗談等を踏まえながら、  「分析」「支援方法」「組織・チームで対応」の大切さを伝え、研修のまとめとする。 | ※ミニ研修の目的を伝  える。  ※文部科学省、厚生労  働省、警察庁等の資  料を活用する。  ※実践で使えるワーク  シート等を紹介する。  ※ワークシートにまと  めることで、問題の  内容が明確になり、  その原因を多角的に  考えられる。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 期待される成果 | 参考資料及び先輩教員の実践を知ることで、分析と支援を基にして組織で対応することの大切さを学ぶことができる。不登校児童生徒を担任一人で抱え込むのではなく、チームで対応しようと考えるなど、指導力の向上が期待できる。 |